

令和2年(2020年)6月11日(木曜日)

県、施設整備見直し

コロナ影響 浜松野球場や中央図書館

県は10日、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、多額の財政負担が見込まれる浜松市西区の新野球場や静岡市駿河区の県立中央図書館の整備計画を見直す方針を固めた。いったん各施設の見直しを止めた上で、整備内容やスケジュールの「総点検」を行い、今秋をめどに、新たな方向性を示す。

の生産活動や消費の落ち込みによる県税収入への影響が避けられず、今後、大幅な財源不足が発生する恐れがある。感染拡大後、事業の前提になる社会経済状況や施設整備に対する県民の意識が変化していることも考慮し、事業の目的や手法が、「総点検」の方針

を見直す必要があると判断した。対象施設のうち、浜松市西区の遠州灘海浜公園篠原地区の野球場整備は、規模や外野スタンドの構造が異なる4案の概算事業費を、県議会6月定例会前に提示する予定だった

を受けて見合わせた。「今後の進め方は未定(公園緑地課)という。最大会派自民改革会議の浜松市選出議員の1人は「この際、野球場整備の必要性から問い直すべきだ」と指摘した。

感染防止対策と社会経済活動の再開に向けた県の取り組みに対しては、国の財源措置があるものの、県内企業

を「総点検」の方針

施設の老朽化に伴いJR東静岡駅南口の県有地に新たに整備する県立中央図書館については、県議会の意見を踏まえながら導入機能や規模を決め、本年度に整備計画を策定する予定だった。県教委社会教育課は「見直しの対象になったこ

とを踏まえ、改めて県議会や財政当局と話し合いをしていく」とした。老朽化に伴い、建て替えが進む県立高校も見直しの対象となる。県教委は中長期整備計画に基づき、校舎の長寿命化や建て替えの対象を定めており、本年度は7校10棟、21年度以降は5棟の工事を予定している。

このほか動物管理指導センター(浜松市西区)、農林技術研究所茶業研究センター(菊川市)、温水利用研究センター(沼津市)も見直しの対象になっている。

このほか動物管理指導センター(浜松市西区)、農林技術研究所茶業研究センター(菊川市)、温水利用研究センター(沼津市)も見直しの対象になっている。

このほか動物管理指導センター(浜松市西区)、農林技術研究所茶業研究センター(菊川市)、温水利用研究センター(沼津市)も見直しの対象になっている。

このほか動物管理指導センター(浜松市西区)、農林技術研究所茶業研究センター(菊川市)、温水利用研究センター(沼津市)も見直しの対象になっている。

県の整備見直し対象施設	
● 動物管理指導センター	(浜松市西区)
● 農林技術研究所茶業研究センター	(菊川市)
● 温水利用研究センター沼津分場	(沼津市)
● 遠州灘海浜公園 <篠原地区> 野球場	(浜松市西区)
● 県立中央図書館	(静岡市駿河区)
● 県立高校の老朽建て替え	

このほか動物管理指導センター(浜松市西区)、農林技術研究所茶業研究センター(菊川市)、温水利用研究センター(沼津市)も見直しの対象になっている。

(政治部・宮嶋尚顕、杉崎素子)